

静岡市観光基本計画 概要（案）

◎計画策定の背景

- **本市の観光政策は**、第4次静岡市総合計画（4次総）に大枠が掲げられている。しかし、**観光政策を推進するための具体的な計画が未策定**である。
- コロナ禍をはじめとし、**観光をめぐる環境も大きく変動**しており、**4次総の観光政策を大枠で維持しつつも、それらの変動を考慮した観光基本計画を策定することが必要不可欠**である。
- **観光基本計画には、具体的な対応を定めた戦略を設け**、観光政策を推進する上での**取り組みを可視化**するとともに、十分ではなかった本市内外**関係者との連携協力に取り組むことが必要**である。
- 以上のことから、**本市観光について改めて現況を整理・分析**し、観光政策を推進するための**戦略を含む観光基本計画を早急に策定**する。

第1章 計画策定にあたって

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の位置付け
- 3 計画期間

第2章 観光をめぐる最近の動向

- 1 観光をめぐる動向
- 2 最近の動向を踏まえた留意すべき視点
 - (1) 人口減少・人口構造の変化と少子高齢化
 - (2) 「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくり
 - (3) 観光と持続可能な開発目標（SDGs）
 - (4) 持続可能な観光地域づくり
 - (5) 災害時の来訪者対策
 - (6) 産業の観光への活用
 - (7) 多様性を受け入れる国際都市
 - (8) 観光ブランディング
 - (9) MICE誘致

第3章 本市の現状等

- 1 本市の現状
- 2 本市の観光の現状
 - (1) 本市の観光交流客数及び外国人旅行客の状況
 - (2) 来訪者調査や事業者調査から見える本市の現状
 - (3) 本市観光の特徴分析
- 3 考慮すべき視点
 - (1) 人口減少と少子高齢化
 - (2) 滞在時間の短さ
 - (3) 観光消費単価
 - (4) 観光資源
 - (5) インバウンド観光への対応及び国際都市化
 - (6) 観光地を結ぶ交通ネットワークや市内周遊への対応
 - (7) 統一的なブランディング政策と観光地域ブランディング
 - (8) 静岡県中部地域における観光分野のより効果的な広域連携
 - (9) 静岡県中部地域のDMO機能
 - (10) 新たな動きへの対応

- ・地域社会のみんなで取り組む任意計画
- ・静岡市役所／職員の取り組むべき事項
- ・関係者への本市の活動の明示
- ・関係者との共創による一体的な取組

第4章 本市観光基本計画の基本理念と基本的なスタンス

- 1 基本理念 「観光政策を通じた持続可能な『住んでよし、訪れてよし』の国際都市の実現」 ⇐ 第4次静岡市総合計画及び同計画の観光政策の大枠の具現化
- 2 基本的なスタンス：本市の統一的な観光ブランディング概念やそれを踏まえたキャッチコピーの必要性、本観光基本計画の意味合いなど（経済活性化、連携重視、市民参加型志向など）

第5章 観光戦略：基本理念を実現するため、基本的なスタンスを踏まえた戦略的な取り組みとなる観光戦略として1 総合戦略と2 個別戦略を設定

1 総合戦略：観光政策全般に関する総合的な戦略

- (1) **観光ブランディング戦略**：市民とともに来訪者が抱く驚きや感動を表現した「驚きと感動の国際都市」を本市の観光ブランド・イメージとし、キャッチコピーを設定
- (2) **観光連携戦略**：本市内外の関係者と連携した取組を展開
- (3) **観光関連組織・人材の育成及び活用戦略**：観光関連の一般社団法人やボランティア団体などを育成・活用するとともに、観光人材を育成・活用（留学生の活用を含む）
- (4) **域内移動の確保・充実戦略**：地域公共交通網形成計画や自転車活用推進計画などと連携した来訪者にも住民にも利用価値のある域内移動について徒歩・自転車利用も含め確保・充実
- (5) **観光資源（産業観光を含む）の活用とMICE誘致戦略**：一見観光と無関係な産業分野においても観光資源として活用、主催者支援の制度・体制の充実を図り、各所連携し誘致活動
- (6) **情報に関する再整備戦略**：既存の情報の取扱いを検証した上で、効果の上がる手法等を再整備（観光DXを含む）
- (7) **安心・快適な観光環境の整備戦略**：発災時の対応を含む観光防災のあり方を検討するとともに、安全・快適な観光環境を整備・充実
- (8) **新たな動きや将来構想への対応戦略**：オーバーツーリズムや観光課税などの新たな動きや市民文化会館の再整備、東静岡アリーナ整備などの将来構想に観光視点で対応

2 個別戦略：総合戦略を前提とした特定分野における個別的な戦略

(1) 国内戦略：国内観光分野に特化した戦略 (2) インバウンド戦略：インバウンド観光に特化した戦略 (3) 重点テーマ・エリア戦略：重点化するテーマ・エリアに特化した戦略

- ①ブランディング戦略
- ②ターゲット重点化戦略
- ③観光連携戦略
- ④消費拡大戦略

- ①ブランディング戦略
- ②ターゲット重点化戦略
- ③クルーズ船対応戦略
- ④国際ネットワークの活用戦略

- ①重点テーマ戦略
- ア 美食
- イ 絶景
- ウ 歴史
- エ ホビー

- ②重点エリア戦略
- ア 日本平・久能山・清水港・三保松原エリア
- イ 東海道（蒲原・由比・興津・江尻・府中・丸子）エリア
- ウ オクシズエリア
- エ 用宗エリア

第6章 推進体制（新たな推進体制/具体的な推進方法/新たな組織の検討/社会全体による共創）

第7章 計画の評価指標及び進行管理（計画の評価指標/計画の進行管理）

用語集 / 参考資料